

むさしの健幸アンバサダー による Health for All

研究員：中板育美、田中笑子、遠山寛子、
佐藤睦子、橋本結花、渡邊千秋、廣瀬絢加
山本摂子、峰友紗、明石修

学生：2024 年度ゼミ生他 47 名



「むさしの健幸アンバサダー¹」は、人々の健康としあわせに関心を持つ学生が、活動を通して自身の健幸を創りだす力を高め、加えて学部横断かつ産官学民協働による相互作用を活用し、他者に健康情報を届ける力を育む活動です。

2024 年度は、共創型アクションリサーチとして、看護学部地域・在宅看護領域と幼児教育学科のゼミ生と教員を中心に、健幸アンバサダーの養成、活動媒体の作成と認証、全国への媒体配信、健康教育実践を行いました。

- ・6 月 オープンキャンパス（看護学科）でパンフレット配布
- ・8 月 健幸アンバサダー養成講座開催（看護・幼児教育学科を中心に 52 名養成）
- ・11 月 大学祭で健康教育（黎明祭 447 名）
- ・12 月 健幸アンバサダー学生による授業（1 年生対象 107 名、梅毒予防）
- ・2 月 発展 FS（カンボジア）で英語版活用（医療職や学校関係者、NPO や地域の方々

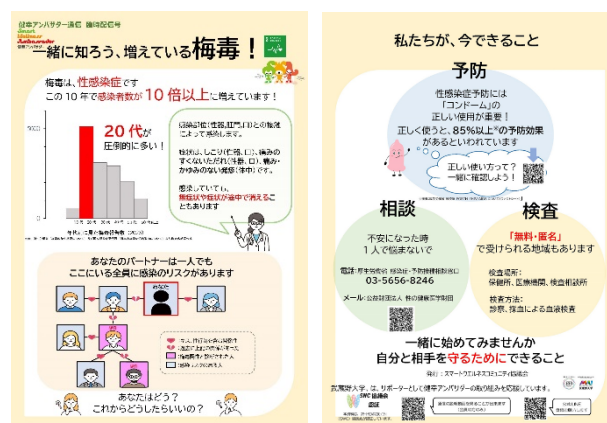
とのコミュニケーションに活用)

- ・3 月 江東区女性の健康ウィークにて配布（子宮頸がん予防パンフレット 600 部）

地域在宅看護ゼミの学生は、最新の予防知識や情報伝達技術を学んだのち、主ターゲットを同年代に決め、「一緒に知ろう、増えている梅毒」をテーマにパンフレットを作成しました。自分たちにも誰にでも起こりうることを、何をどう伝えることが予防につながるか、誰かを傷つける表現になっていないか、など何度も議論を重ねて完成したパンフレットは、認証審査を経て、全国の自治体や企業と協力しながら、健康に無関心な層へも届けています。

身近な健幸を考える仲間を増やし、健康の享受につなげることで、健康の先にある Well-being（しあわせ）をカタチにしていきます。2025 年は 8 月 21 日（木）に養成講座を開催しますので、ぜひ一緒にご参加下さい。

認証審査に合格し全国配布されているパンフレット



¹ 健幸アンバサダーとは：健康に関する正しい知識などを身近な人に伝える健康の伝道師。自分自身と大切な家族や知人などに「心に届く健康情報」を伝え、健康づく

りの輪を広げていくもの。一般社団法人スマートウエルネスコミュニティ協議会主催の養成講座を受講し、公式に「健幸アンバサダー」の認定を受ける。